住宅ローン金利　5行が引き上げ

三菱UFJ銀行など国内の大手5行は4月28日、5月に適用する住宅ローン金利を発表しました。

最優遇金利で、最も低く設定したのは三井住友信託銀行の 0.90%で、前月から0.05%の引き上げ。次にりそな銀行の1.00%だった。三菱UFJ銀行は1.04%、みずほ銀行は1.15%、三井住友銀行は1.50%となりました。10年固定の基準金利も全5行が引き上げました。

不動産価値は、金利に大きく左右されます。今までは、住宅ローンの低金利やコロナ禍の巣籠需要で上昇傾向にあった不動産は現在ピークを迎えており、今後は下落していく可能性が高いと言われています。

また、令和4年度からは住宅ローン控除率が1%から0.7%になりました。期間は10年から13年に延長されましたが、これは長期優良住宅等の新築物件に限ったお話です。中古物件を購入される方にとっては、ただのマイナスです。こういった、金利動向や控除の縮小により、不動産の購入マインドは減少していくと考えられます。

不動産の市況は流動的であり、これから価値が変動する時代にきています。だからこそ、現在の価値を知っておくことが非常に重要です。

あなぶき不動産流通では、不動産の無料査定や、買取相談等、お客様のご状況やご意向に沿ったご提案をさせていただきます。

お気軽にご相談をくださいませ。